

# 浄願寺だより

H26 夏 No.2

遠方にお住まいのご門徒さんから、定期的にお寺の近況を聞かせてほしい、とのご要望があり、このたび「浄願寺だより」としてお寺をとりまく身近な出来事を取りまとめてお知らせしようと思ひます。夏冬二回の発行を予定しています。

平成二十六年七月二十六日発行

編集責任者

浄願寺住職 関秀法

## お仏壇の水

住職 関秀法

今年も暑いお盆を迎えようとしています。先日、お墓参りのあと、あまりにも暑かったのでお寺に帰るなり井戸の水をコップ一杯一気に飲み干しました。井戸水を飲むのはずいぶん久しぶりでしたが、ぬるすぎず、冷たすぎず、なんとも言えない水らしい味のする、おいしい水でした。夏場の一杯の水はただ喉をうるおすだけではなく、体の隅々にまでしみわたって生命の源になってくれていることがよく分かります。

さて、お盆のこの時期、みなさんのお家のお仏壇にも、お水をお供えになると思います。その際、小さな白い湯飲みに水を入れてお供える方が多いようですが、正式には浄土真宗の仏壇には白い湯飲みは使いません。その代りに、華瓶(けびょう)という仏具を使います。華瓶は、花びんのような形をしています。華瓶は、これは実は古いインドの水差しを模したものです。この華瓶に水を入れ、阿弥陀様の足もとに一對

お供えするのが、浄土真宗の正しいお水の供え方です。



華瓶 と しきみ

そして、入れ物の形よりもっと大切な事があります。それはお仏壇にお水をお供えする意味です。

多くの人は、お仏壇に水を供えるのは、「仏様やご先祖様が喉が渴いていらっしゃる」から、「仏様やご先祖様に飲んでいただくため」にお供えするのだと思われているようですが、そうではありません。喉が渴き、水を求めてさまよっているのは私たちの方です。

苦しみの多いこの世を生きる私たちの心は、悲しみや、憎しみ、老いや病の不安でカラカラに渴いてしまっていないでしょうか。そんな私たちが仏さまの教えを聞くことは、砂漠を歩く旅人が一杯の水を求めるようなもの

です。夏場のつめたい水が、渴いた喉も体も潤してくれるように、仏さまの慈悲の心が、私の心にしみわたってくる様子を、お仏壇に供える水は表現しているのです。

さらに仏さまからいただく仏法の水はごまでも清らかで、どんなに飲んでも安心な水であることを表わすために、華瓶の水には、殺菌作用のあるしきみを差しておきます(なければ他の葉でもよい)。

このように浄土真宗のお仏壇は、ただ仏さまに供物を奉げる場所ではなく、そこに座り手を合わせることによって、わが身を振り返り、知らず知らずのうちに私たちがいただいているもの大きさを感じ、そのご恩に感謝申し上げるための場所であると言えます。ですから、水に限らず、お花もお香も、私たちがお仏壇にお供えるものは、「私が仏さまに差し上げる」というより、「仏さまから私にいただいた」というものなのだと思ひ、深い感謝とともにお供えさせていただきます。

平成二十六年七月

## 本願寺で逢いましよう

遠方のご門徒さんによっては、「福知山にはなかなか行けないけれど、京都の本願寺ならお参りできる」という方もおいででありましょう。

本山西本願寺では年間通して様々な法要・行事が執り行われており、どなたでも自由に参拝できます。また今年、西本願寺の阿弥陀堂、御影堂などが国宝に指定されました。時代を越えて受け継がれてきた厳かな念仏の伝統をぜひとも一度肌で感じていただきたいと思ひます。

浄願寺からも毎年七月ごろ団円で本願寺にお参りに行く「浄願寺念仏奉仕団」というものがあります。(今年は残念ながら台風で中止になりましたが。)法話を聴いたり、国宝の本堂を掃除させていただいたり、仲間と親睦を深めたりと、楽しい一泊二日の参拝です。

普段なかなかお出会ひできない方々とも、そんな機会にご本山のお堂でお出会ひできればいいですね！日程など詳しくは住職まで。

浄願寺だよりはインターネットでもご覧になれます。  
浄願寺ホームページ  
<http://www.jyouganji.com>

## お寺の掲示板より

ひと  
くらべるのも  
やめる  
それだけで  
人生はずいぶん  
楽になる

字・関秀實

## お盆をひかえて 夏の大掃除

お盆をひかえた七月中旬、篠尾のご門徒さん方が、お寺の大掃除をしてくださいました。

代表総代の挨拶のあと、本堂には足場を組んで、柱の一本一本、梁の一つ一つまで丁寧に雑巾がけ。お寺の竹やぶは、全員汗だくになりながら、草刈りをしました。

中心となつてくださった、「浄願寺」ともしび会「会長 竹下一正さんは、熱中症の危険や、高い所に登る作業がありますので、「今年も誰も怪我なく、無事済んでよかった。」と胸をなでおろしておいででした。



こうして、多くの人の手で支えられて、浄願寺は今年もお盆を迎えることが出来ます。

天井まで雑巾がけ。少しこわい… 写真提供 竹下一正様

## 門徒の広場

門徒の広場は  
WEB版ではご覧いただけません。

## 浄願寺

### 永代供養墓

お墓の管理や、後継者に不安をお持ちの方へ。  
永代供養墓への埋葬・改葬も選択肢の一つです。

浄願寺永代供養墓は車道に面してお参りのしやすいお墓です。  
詳しくは浄願寺ホームページか住職までおたずねください。

## 編集後記

わたくしにとっては、今年から娘が幼稚園に通いはじめました。五歳ぐらいいままでに育った環境で、人間の性格はだいたい出来上がるという事を聞いたことがあります。私は親として十分な事をしなかったか、甚だ疑問ですが、少なくともお寺という環境で、仏さまに手を合わせながら幼年時代を過ごしてくれた事は、親としてとてもうれしいことです。これから時代は大きく動いて行くでしょうが、目に見えない「恩」に、頭を垂れる事ができる子は、どんな時代になっても幸せに生きて行けると思っています。

浄土真宗本願寺派  
篠尾山浄願寺

〒620-0925  
福知山市上篠尾725  
電話(0773)-22-5280  
email [jyouganjiweb@gmail.com](mailto:jyouganjiweb@gmail.com)  
<http://www.jyouganji.com>

住職 関 秀法